

## 平成26年度 学校教育自己診断アンケートの結果・考察・課題

はじめに

今年度も、保護者の皆様、児童、教職員に学校教育自己診断アンケートを実施いたしました。

保護者の皆様には、ご多用の中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。82.9%の保護者の方からご協力いただきました。

集計したアンケートの結果をお知らせします。

グラフは上に昨年度、下に今年度の結果を掲載しています。

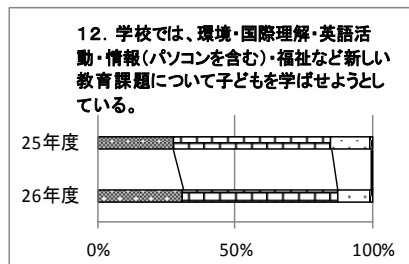
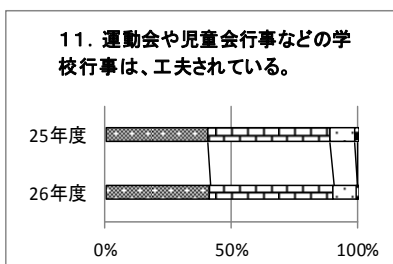
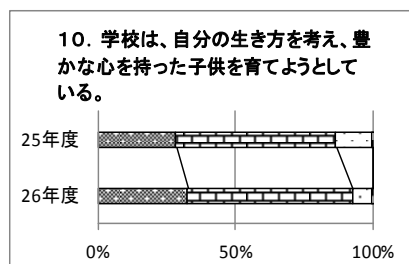
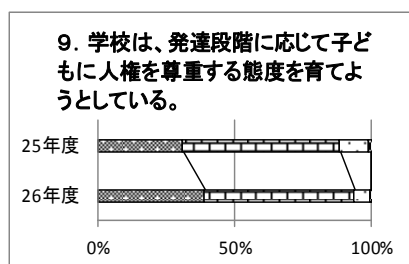
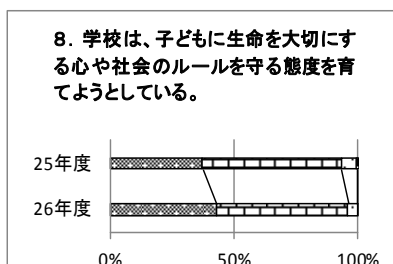
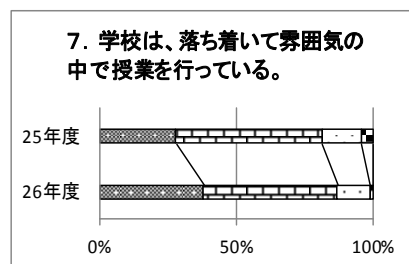
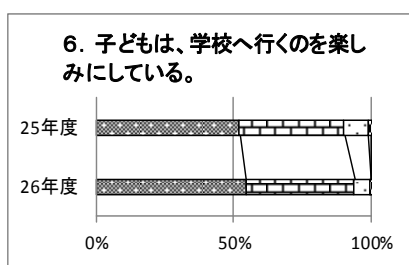
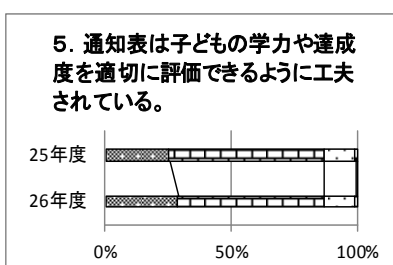
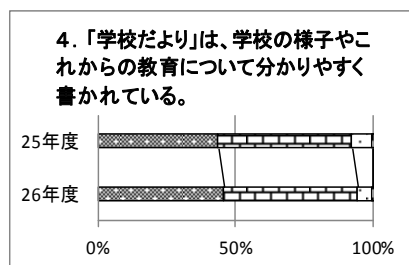
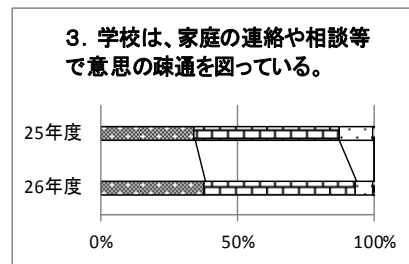
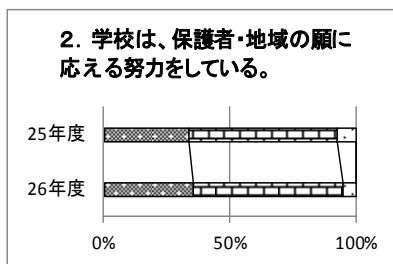
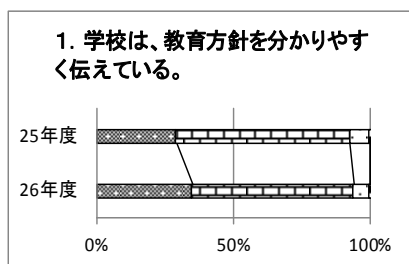
皆様から頂いた貴重なご意見を今後の学校改善に活かしていく所存です。

今後ともよろしく願いいたします。

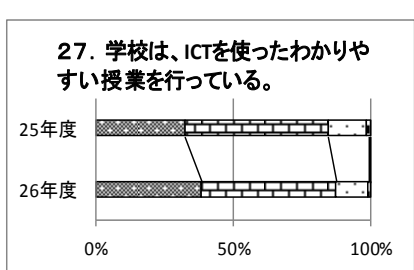
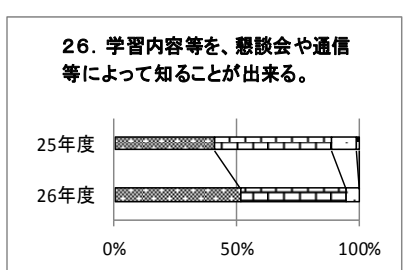
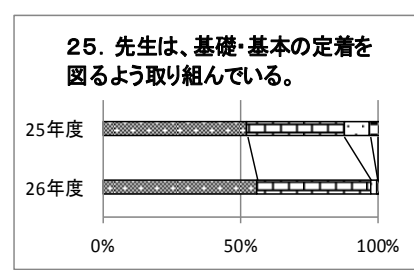
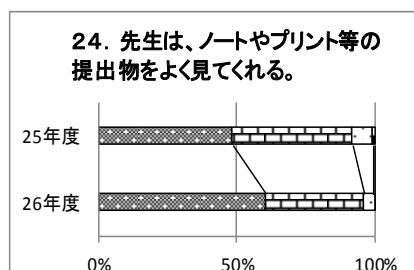
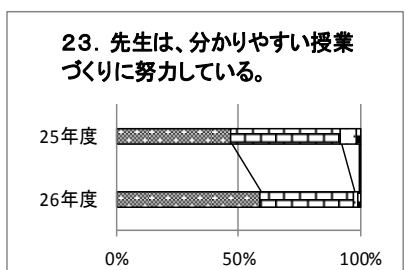
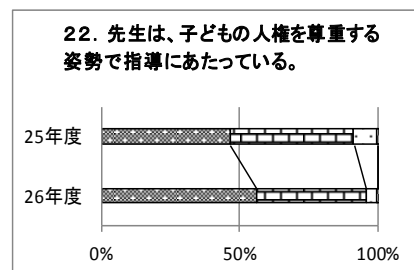
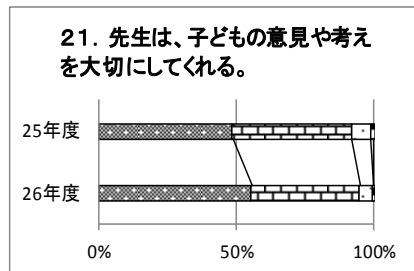
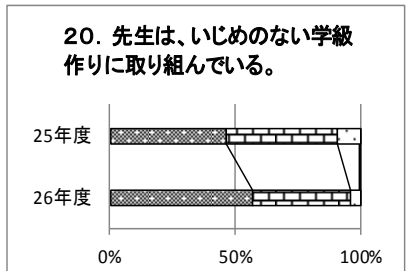
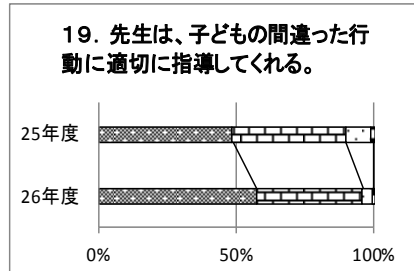
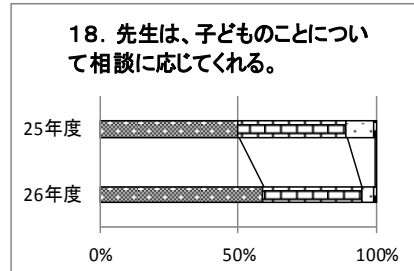
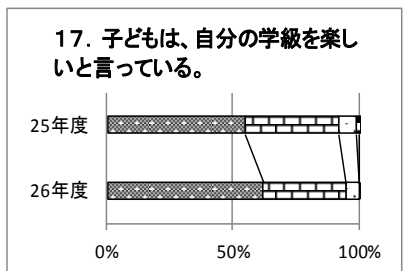
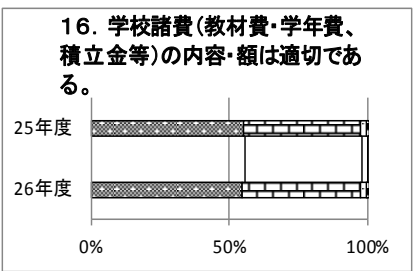
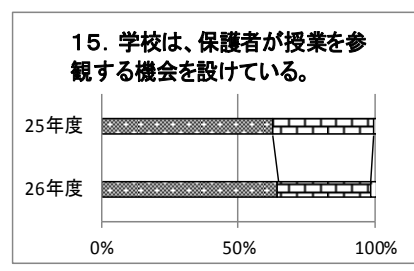
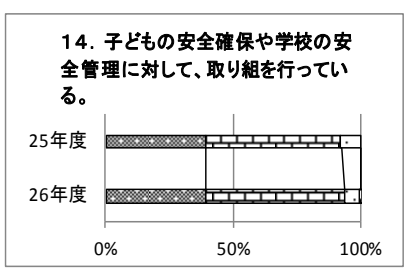
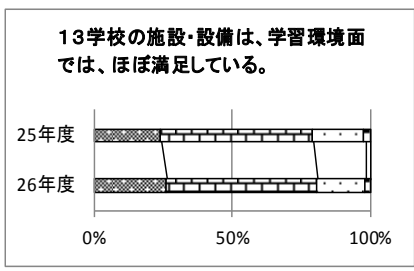
平成27年3月 枚方市立藤阪小学校 校長 中野 恵永子

### 保護者アンケートより

凡例  ◎よくあてはまる  ○ややあてはまる  △あまりあてはまらない  ×まったくあてはまらない

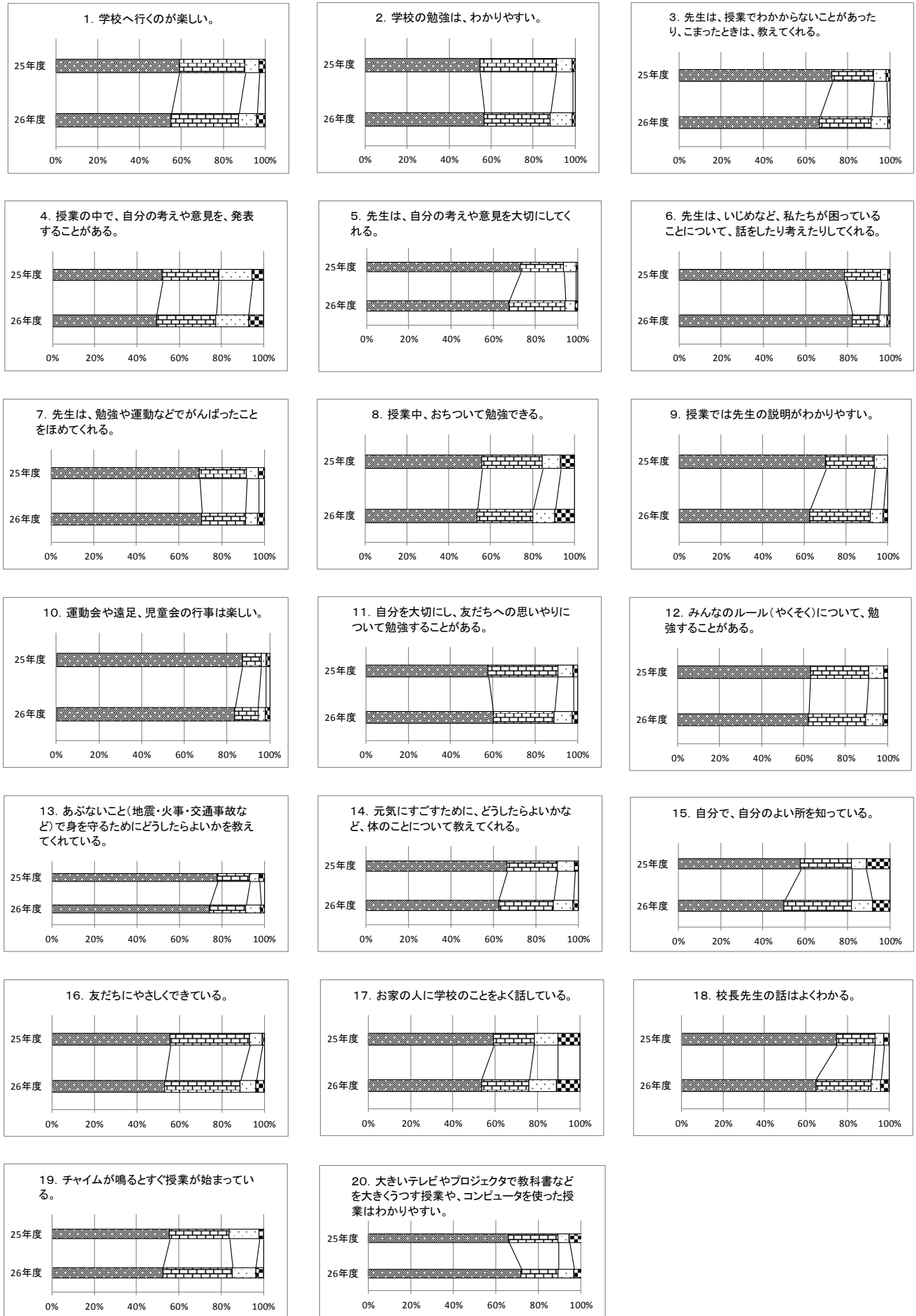


凡例 ◎よくあてはまる ○ややあてはまる △あまりあてはまらない ×まったくあてはまらない




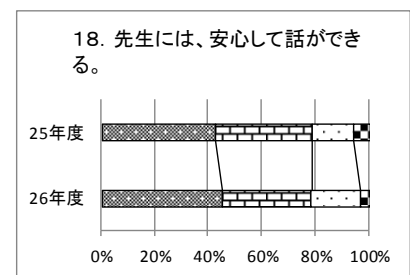
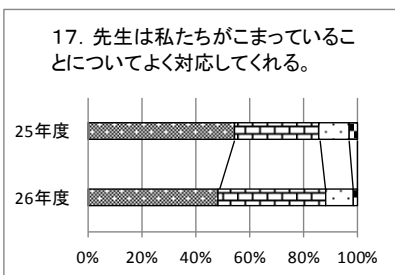
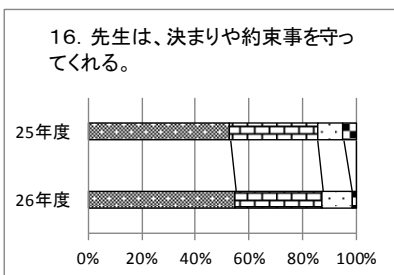
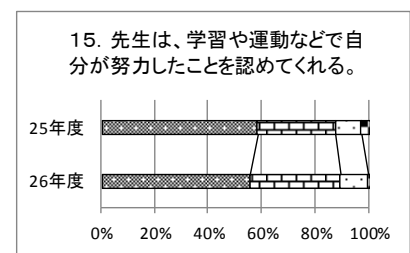
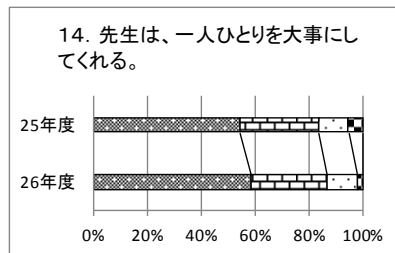
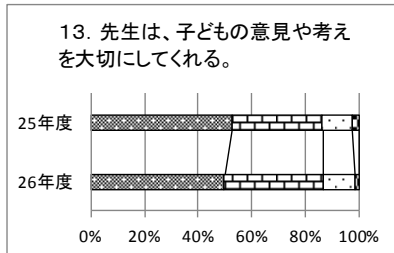
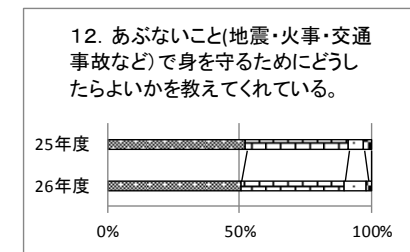
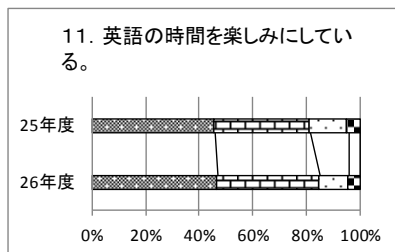
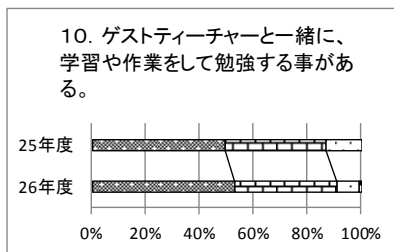
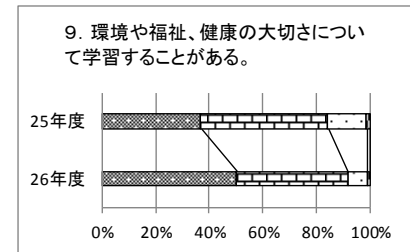
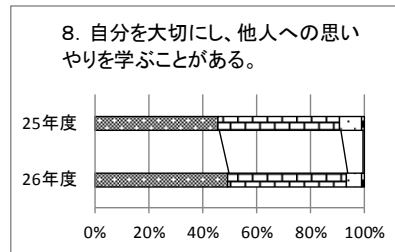
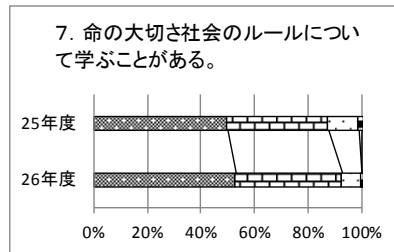
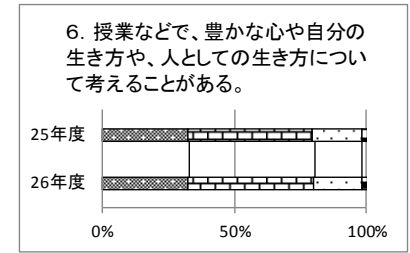
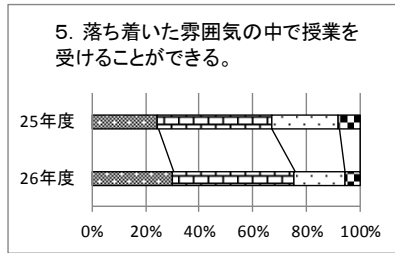
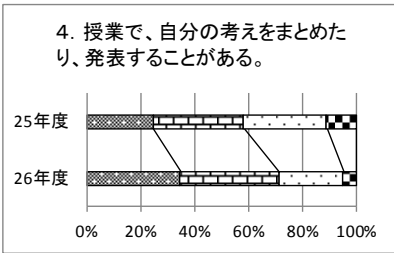
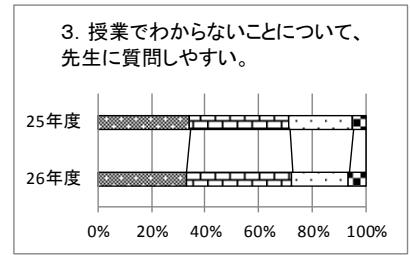
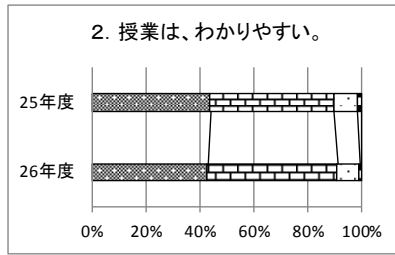
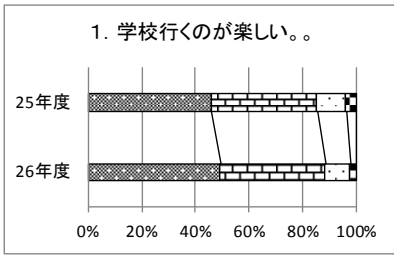
# 児童低学年アンケートより

凡例 ◎よくあてはまる ○ややあてはまる △あまりあてはまらない ×まったくあてはまらない



児童高学年アンケートより

凡例  ◎よくあてはまる  ○ややあてはまる  △あまりあてはまらない  ×まったくあてはまらない



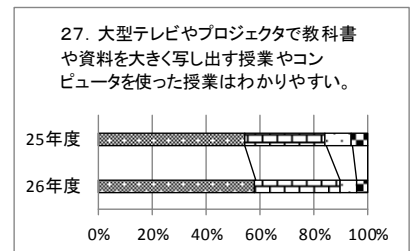
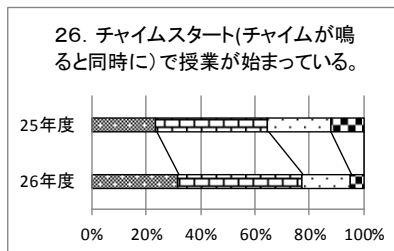
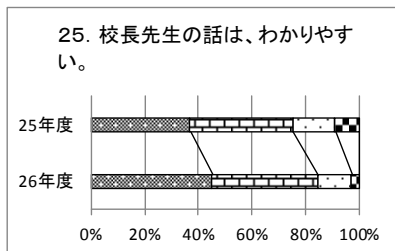
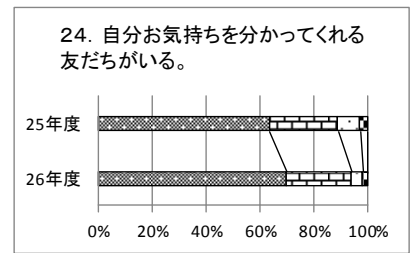
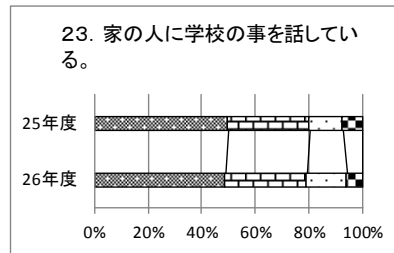
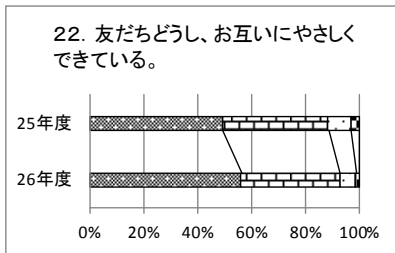
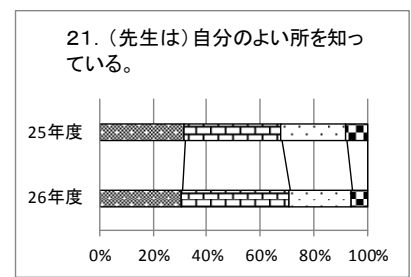
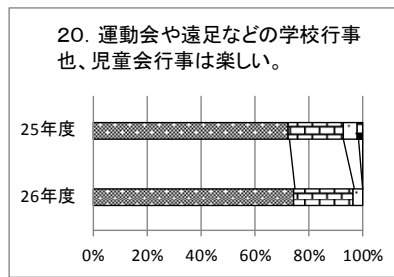
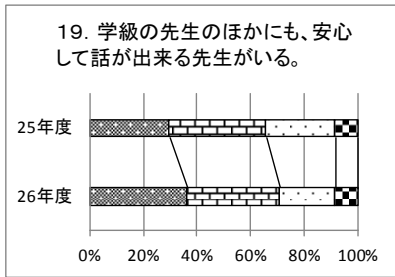
凡例

◎よくあてはまる

○ややあてはまる

△あまりあてはまらない

×まったくあてはまらない



## アンケートからの考察・課題

### 【保護者】

昨年度と比較して、「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価の合計が上回っている項目が多く、下回っていたのは、「学校は、保護者が参観する機会を設けている」と、「学校諸費の内容・額は適切である」の2項目だけでした。

一番上回り方が大きかった項目は、「ノートやプリント等の提出物をよく見ている」でした(8ポイント増)。その他、「学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」「先生は、基礎・基本の定着を図るように取り組んでいる」「先生は、子どものまちがった行動に適切に指導してくれている」という学校教育の根幹にかかわる項目について評価していただきました。

今後も児童が、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得するような取組を進めていきます。

また、児童が主体的に学習等に取り組む態度を養うことにも力を注ぎ、「生きる力」の育成に努めます。

### 【高学年】

昨年度と比較して、「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価の合計が上回っている項目が多く、下回っていたのは、「あぶないことで身を守るためにどうしたらよいかを教えてくれている」「先生には、安心して話ができる」「家の人に学校の事を話している」の3項目だけでした。

昨年度より大幅に上回っている項目は、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある」「チャイムスタートで授業が始まっている」「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる」「環境や福祉、健康の大切さについて学習することがある」そして「校長先生の話は、わかりやすい」の5項目でした。

昨年度は、「授業で、自分の考えをまとめたり、発表することがある」という項目は、一昨年度より下回っていました。そこで、今年度は、授業の中で自分の考えをまとめて自分の考えを周りの人に発表する取組を進めてきました。児童にその取組が浸透しつつあるようです。今後もこの取組を続けていくことで、考えを深める習慣をつけ、コミュニケーション能力の向上につながっていくと考えます。

### 【低学年】

低学年は、保護者の方、高学年児童とは異なり、ほとんどが微減という結果でした。なかでも、「授業中、おちついて勉強できる」という項目が5ポイント下回っていました。また、「友だちにやさしくできている」が4ポイント、「学校に行くのが楽しい」「学校の勉強は、わかりやすい」が3ポイント下回っていました。

唯一上回っていた項目が、「チャイムが鳴るとすぐ授業が始まっている」でした。チャイムが鳴れば、運動場で遊んでいてもみんな走って教室に向かっています。

あたり前のことをあたり前にできるようにこれからも継続して指導していきます。